

No.	頁	見出し	意見要約	回答
1	全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>・習志野市の都市課題を明確にすべきです。</li> <li>・「都市課題を的確に把握することが重要だ」という考えに沿って基本構想を策定しない理由を説明して下さい。</li> <li>・何故、別項を設けて「都市課題」を明確にしないのか、その理由を説明して下さい。</li> <li>・「都市課題」を基本構想(案)では割愛した行政の理由と意図は全く分かりません。割愛した理由と意図を説明してください。</li> <li>・「都市課題」を明確にせず、キャッチフレーズ、「3つの目標」と「重点プロジェクト」がどのような経緯と意図をもって決定されたのか説明して下さい。</li> <li>・「やさしさ」を必要とする「都市課題」がどのようなものか、もっと具体的に説明して下さい。</li> <li>・どのような「都市課題」を考えて、「3つの目標」を決定したのか説明して下さい。</li> <li>・「都市課題」を明確にした上で、文章内に「自立的都市経営」の必要性と重要性を強調すべきです。</li> </ul>	<p>まちづくりにおける課題等については、それぞれの項目の中で記載しておりますが、ご指摘のとおり、新たに項目を設けて記載いたします。</p>
2	全体		<p>課題の共有の必要性と提案した課題について、行政の見解を問います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 「厳しい財政状況と公共施設の再生」・・・「自立的都市経営の推進」を含む</li> <li>② 「都市型災害の危機管理体制の充実」</li> <li>③ 「豊かな人間性を育む人づくり」</li> <li>④ 「高度情報化社会への対応」</li> <li>⑤ 「価値観の多様化と少子・高齢化社会への対応」</li> <li>⑥ 「地球規模での環境対応と資源循環型社会の構築」</li> <li>⑦ 「地域経済と地域活動の活性化」</li> <li>⑧ 「人口減少への対応の検討」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① Ⅲ-2 自立的都市経営の推進のとおりです。</li> <li>② 第2章第1節「ともに安心を築く危機管理・安全対策の推進」のとおりです。</li> <li>③ 第3章第2節「未来をひらく教育の推進」のとおりです。</li> <li>④ Ⅲ-2 自立的都市経営の推進のとおりです。</li> <li>⑤ 第1章第1節「誰もが健康を維持できる保健・医療・福祉の充実」及び第3章第1節「子どもが健やかに育つ環境の整備」のとおりです。</li> <li>⑥ 第2章第3節「自然と調和する環境づくりの推進」のとおりです。</li> <li>⑦ 第1章第2節「にぎわいと活力を創出する地域経済・産業の振興」及び重点プロジェクト3「協働型社会の構築」のとおりです。</li> <li>⑧ 3つの目標及び3つの重点プロジェクトを実行することにより、まちの魅力を高め、人を引き付けられる、住んでみたいまちになると考えます。</li> </ul>
3	全体		<p>財政問題を長期構想の中心課題に置くべき。その上に習志野市のビジョンは構築されなくてはならないと考える。</p>	<p>ご指摘のとおりと考えます。財政問題は重要な課題の一つと捉えております。今後も財政状況に留意し、行政運営を推進してまいります。</p>
4	3	I 将来都市像	<p>将来都市像に全く異論はない。しかし、習志野市をどのようなまちにしたいのか、そのつながりに関する説明が不十分に感じる。</p>	<p>どのようなまちにしたいのかは、各目標に記載のとおりとなりますが、より一層理解がされるよう、周知に努めます。</p>
5	3	I 将来都市像	<p>「一貫して住民福祉の向上を目指してきました。」とあるが、今後もそれを目指しますと明記すべき。</p>	<p>原文のままとします。                  住民の福祉の向上は、地方自治体の義務でもあり、当然にも目指すべきものであります。</p>
6	5	Ⅱ-1 人口指標に対する考え方	<p>少子高齢化からくる様々な困難に市民は遭遇している。それに明確に応える内容でなければ説得力のある基本構想とは言えない。</p>	<p>ご指摘のとおりと考えます。本項にも記載しておりますが、増加する高齢者のみならず、生産年齢人口、年少人口の維持・増加を視野に入れた構想であると考えます。</p>
7	5	Ⅱ-2 都市空間づくりの考え方	<p>各市街化調整区域の都市計画決定を急ぎ、乱開発を防ぎ、将来都市像を確定する。</p>	<p>原文のままとします。地権者の意向や周辺環境との調和を図った利用を検討してまいります。</p>

No.	頁	見出し	意見要約	回答
8	9	Ⅲ-1 第1章第2節 地域経済・産業の 振興	習志野市が重点的に検討すべき産業・行政として構想すべき分野は、子育て、医療介護等、また、環境エネルギー問題からくる新事業、情報化社会に向けての新産業等、さらに、市民の安全な生活に直結する産業と思われる、耐震改築、リホーム建築関連中小企業も含まれる。 習志野市の産業のあり方を、どこに重点を置くべきなのか分かるように、書き直して欲しい	全体の方向性は、記載のとおりとなります。 各分野の事業については、個別計画に委ねることとなります。
9	9	Ⅲ-1 第1章第2節 地域経済・産業の 振興	財政的視点から、産業分析と将来の可能性に関する調査を行うべき。基本構想策定に間に合わなくても、その必要性の指摘と分析による具体的施策の展開に関する構想を明記して欲しい。	重要なお指摘と捉えます。今後の経済政策実施に向け検討してまいります。
10	9	Ⅲ-1 第1章第2節 地域経済・産業の 振興	b. 購買意欲の向上を図るため、身近で便利な商店街づくり とあるが、この表現は誤解を招くので、控えた方が良く考える。	ご指摘のとおり、「購買意欲の向上を図るため」を削除します。
11	15	Ⅲ-2 自立的都市 経営の推進	タイトルは「Ⅲ-2重点プロジェクト」で良いのではないか。	原文のままとします。 自立的都市経営を推進することにより、将来都市像を実現するための3つの目標を達成できると考えます。 この、自立的都市経営のなかでも特に3つの課題を重点プロジェクトとして示したものです。 よって、重点プロジェクトを包含する標題として、自立的都市経営の推進としました。
12	15	Ⅲ-2 自立的都市 経営の推進	世界の政治経済の動向を見据えることなしには、習志野市の課題も解決できないことを認識する必要があります。	ご指摘のとおりと考えます。本項においても記載しており、ご指摘の認識を持って基本構想の推進を図ってまいります。
13	15	Ⅲ-2 自立的都市 経営の推進	3つ手段が重点プロジェクトとして選択され、決定された理由と経緯を分かり易く説明して下さい。	自立的都市経営の中でも特に重点的に取り組むものとして、3つの重点プロジェクトを設定しました。 公共施設の再生は、今後の行政運営の中でも、財政面、施設面ともに大きなウェートを占めます。 財政健全化は、全ての事業には財源が必要となり、財源の確保は重要な課題となります。 協働型社会の構築は、縮小を要求されている行政において、社会的課題の複雑化・多様化の解決には、市のみでの解決は困難なケースも生じています。そのなかで、地域における課題の解決は協働の理念のもと、市民自らが課題を解決する力の向上が必要となってきます。 以上より、3つの重点プロジェクトを設定しました。
14	17	重点プロジェクト2	「2. 財政健全化」を重要プロジェクトの一つとした理由と経緯を説明して下さい。	No.13のとおりです。
15	17	重点プロジェクト2	財政の「健全な状態」と現在の財政上の問題点、及び「持続可能な財政運営」とはどのような運営状態なのか、具体的に説明して下さい。	問題点等は、重点プロジェクト2のとおりです。また、持続可能な財政運営とは、債務残高を抑制するとともに、自主財源比率や経常収支比率を改善し、習志野市として住民福祉向上のための事業を継続して実施していくことです。

No.	頁	見出し	意見要約	回答
16	17	重点プロジェクト2	「2.行財政改革の更なる推進による財政健全化」としてはどうか。	原文のままとします。 財政健全化は、行政として常に意識をするもので、過去から現在、未来にわたり推進していくものです。常に改善を目指し、実行していることから、財政健全化としております。
17	17	重点プロジェクト2	慎重の上にも慎重に財政運営をしなければならぬと考えます。	ご指摘のとおりと考えます。本項に記載のとおり、自立した財政基盤を構築できるよう、財政運営に努めてまいります。
18	17	重点プロジェクト2	基本構想の策定は、財政の視点からすべてを検討すべきであると考えます。「基本構想案」の目指す経済政策は総花的で焦点が見えにくい。	基本構想は、将来のまちづくりの方向性を示すものであり、様々な視点が必要となりますので、総花的になってまいります。また、財政の視点は重要であると考えます。実効性を伴う計画の策定を進めてまいります。
19		その他	基本構想の前期6年間は、複数の計画案を慎重に進めるべき。緊急性を有するもの以外は控えるべきと考えます。	ご指摘を踏まえ、基本計画の策定を進めてまいります。
20		その他	まちづくり基本構想及び公共事業再生計画は明確な理念のもと構想されるべきである。それは、市民参加型都市を目指す市民交流理念の構想である。	重点プロジェクト1のとおり、本構想と連携を図ってまいります。
21		その他	都市計画道路が整備され、都市軸が完成し、ハミングロードの整備も見込まれる。それによって、この町の特徴である台地と低地の接点在市庁舎広場となり、全市民の中心施設を配置、市民交流の中心核、シビックセンター構想が描けるのである。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
22		その他	サイクリングロードを併設したハミングロード都市軸をコミュニティバスが走り、京成線も並走する。この恵まれた地勢を活かし、14コミュニティが交流する、コンパクトシティ習志野を形成するのである。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
23		その他	市民活動の基礎単位は町会であり、地域のたまり場の整備が基本である。	集会所、コミュニティセンターなど、人が集まれる場を通じて、活動をしていただいています。
24		その他	まちづくり会議は住民主導とし、町会員が選出する男女2人が地区代表としてこの会議を仕切り、地区代表市議会議員も務める。14コミュニティ代表が構成する、市民委員会型市議会が確かな住民自治参加を目指す。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
25		その他	小学校舎をスケルトンインフィル方式で改修。その一角を地域住民寄り合いの場とする。	公共施設再生の中で検討をしております。
26		その他	小中学校の学芸会、演奏会、各校から選ばれた作品などもシビックセンターで公開する。市民交流の象徴的な場となる。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
27		その他	公民館の企画・運営も地区住民に任せる。各種同好会、地域が推す人々で委員会を創り、その公民館の企画・運営を委託する。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。

No.	頁	見出し	意見要約	回答
28		その他	高齢者対策で最も重要なことは孤立させないことである。「住み慣れた処で自分らしく老いる」この理念が全ての町会員に感じられるやさしさのこもったコミュニティを目指したい。	ご指摘のとおりと考えます。
29		その他	地域支援ボランティアの活動を促進・継続するためには、家事、草刈り、買い物など参加し頼みやすい「支援地域券」を発行する。	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
30		その他	「市民カレッジOB」のつながりは貴重、継続すべきである。また、「シルバー人材センターの積極的参加を図るべきである」	ご意見については、今後の市政運営へのご提案として受け止めさせていただきます。
31		その他	袖ヶ浦UR団地若返り改造策を共同提案すれば、一気に実施されるはずである。周辺商店街の活性化にとって急務である。地域商店街周辺の立体化による若返りと活性化。	UR都市機構との連携を図ってまいります。
32		その他	谷津インターチェンジ完成によるJR津田沼駅周辺直結効果及び茜浜・芝園地域の立地強化策。	茜浜・芝園地区は、工業・準工業地域で、本市における製造・物流業の拠点でもあります。谷津・船橋インターチェンジの開通は、企業の進出にも有利に働くと考えています。

以下は、パブリックコメントの対象ではありませんが、序論案に対する意見です。

頁	見出し	意見要約	回答
序論5	I-2 長期計画の3つの指針	「1. 市民とともに進めるまちづくりの指針」のなかに、「情報公開の更なる拡充」についての記述を追加するべきです。	情報公開の取り組みについては、重点プロジェクト3に記載しています。
序論5	I-2 長期計画の3つの指針	「2. 安全・安心なまちづくりの指針」のなかに、「防犯」や「公共施設の耐震化及び老朽化対策」、更には、「ICT技術の進展に伴う情報セキュリティ」についても記述するべきです。	ご指摘のとおりと考えますが、代表的なものを取り上げ、記載しています。
序論14	II-3 財政概況	「人件費(職員給与等)」の単独評価ではなく、「人件費+物件費」で削減効果を評価するべきです。「人件費+物件費の推移」について、行政はどのような評価をしますか。そして、課題は何だと考えますか。	ご指摘のとおり、経費の内訳については様々な検証が必要と考えます。市民ニーズの複雑化・多様化等により増大する業務量への対応と、人件費の削減という相反する要求の中で、より良い選択に努めていきます。
序論15	II-3 財政概況	「公共施設再生計画」の財源確保のための財政課題についての方針と対応をもっと明確にすべきです。	個別計画を策定する中で表してまいります。
序論16	II-3 財政概況	何故、財政予測ができなかったのか、その理由の詳細な説明を求めます。	事業や歳入予測など、財政予測に必要な要因を調査したうえで作成します。
序論17	Ⅲ 市民意識と市民提案	「1) 住みよさと定住意向について」の設問を記載した意図は何ですか。また、設問「問2-1」の結果を、どの様に評価しますか。(住みよさと感じる理由のここと。一番は交通が便利である 68.5%となっている。)	市民意識調査の一部を抜粋したものです。結果の詳細については報告書をご覧ください。また、本市は立地に優れており、高いポテンシャルを有していると考えます。
序論17	Ⅲ 市民意識と市民提案	キャッチフレーズを選定する際に、意識調査結果はどの様に活用したのですか。	市民意識調査もちろんですが、市長自身が、多くの市民の方と交流を持つ中で、将来都市像を決定したものです。
序論17	Ⅲ 市民意識と市民提案	4つの設問以外の項目の意識調査結果を、基本構想(案)の策定にどの様に活用しましたか。	市民意識調査は、市民・職員など、すべてに公表していますが、策定にあたる議論をする中で、それぞれ、資料として活用しています。